

全国共同利用図書資料（大型コレクション）の利用案内について

この度下記大学図書館より、平成5年度全国共同利用資料（大型コレクション）について利用案内がありましたので、お知らせいたします。

なお、内容につきましては、附属図書館内の参考コーナーをご参照下さい。

・岩手大学附属図書館

「故宫博物院の名蹟 法書」*内容明細あり

・徳島大学附属図書館

「静嘉堂文庫所蔵 古辞書集成（マイクロフィルム版）」*内容明細あり（参考調査掛）

部局からのお知らせ

展示会の開催（経済学部）

名 称：“かわら版から新聞へ：京大経済学部所蔵「上野文庫」展”

主 催：京都大学経済学部・朝日新聞社

会 期：平成6年10月15日（土）～10月23日（日）

10：00-17：00（期間中無休）

会 場：思文閣（百万遍西）

同講演会

講演会：「新聞の生い立ち：市民社会の隣人」

日 時：10月18日（火） 14：00-

講 師：北畠清泰（朝日新聞社論説副主幹）

※いずれも無料

図書館の動き

商議会の開催

平成6年度第1回の附属図書館商議会が、去る7月28日に開催されました。今回は平成5年度決算報告、平成6年度予算方針、平成6年度大型コレクション収集計画等が討議されました。

商議会終了後、選書分担商議員会議が開かれ、平成5年度の学生用図書、特別図書等の購入報告、また平成5年度から配分されることになった自然科学系図書購入費による購入図書の報告も行われました。

引き続き自然科学系選書分担商議員会議が開かれ、平成6年度自然科学系外国雑誌購入費の配分についての報告があり、平成7年度自然科学系外国雑誌購入費割当枠についても審議されました。

京都大学附属図書館将来構想検討委員会の設置

大学を取り巻く環境の急激な変化の中で、これからの大学図書館はその機能の強化・高度化がもたらされており、利用者の多様なニーズに的確かつ積極的に応えていく必要があります。そこで平成6年9月6日に、附属図書館の将来の在り方を検討するために、標記の委員会が設置されました。親委員会の下に7つの部会が設けられ、それぞれ分野を特定し現状分析や将来構想について検討することになっています。委員会及び部会は附属図書館の部課長、専門員、掛長、掛員、及び部局図書系の掛長から構成されます。この委員会、部会で検討された問題は整理された上で商議会に諮られる予定です。

目 次

<巻頭記事>

坪井家旧蔵本の洋学資料……………1

<その他記事>

理学部図書管理システムについて……………4

鈴鹿本今昔物語集の修補に関わって……………5

<お知らせ>

展示会「吉田松陰とその同志」の開催について…6

電子版展示会の開催について……………7

LSN (Library Service News) の創刊……………7

地下書庫の OPAC 稼働開始……………7

全国大型コレクション紹介……………7

<部局からのお知らせ>

展示会『かわら版から新聞へ：京大経済学部所蔵「上野文庫」展』の開催について（経済学部）…8

<図書館の動き>

商議会等の開催……………8

京都大学附属図書館将来構想検討委員会の設置…8